

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

病院概要

Wakayama Medical University Kihoku Hospital





ごあいさつ



分院長 廣西 昌也

紀北分院が生まれたのは昭和13年のことです。伊都郡購買販売利用連合会によって「紀北病院」の名称で設立されました。今も多くの方が「紀北分院」とは呼ばず「紀北病院」とお呼びになるのはこの歴史があるからでしょう。昭和恐慌のあと紀北地方も疲弊しており、生糸の暴落により廃業となった製紙工場跡に紀北病院は建設されました。当時はお年寄りの数は少なく、紀北病院に来る患者さんは怪我や栄養障害、当時はやっかいな病気であった胃潰瘍とか、あと特に結核や腸チフス、赤痢などの伝染病が多かったと思われます。

今も紀北分院は和歌山県の感染症指定医療機関として4床の陰圧室がありますが、そのルーツは地域に蔓延していた伝染病対策として昭和26年に病院内に設立された地元町村立伝染病隔離病舎にたどることができます。

昭和30年に和歌山県立医科大学附属病院紀北分院となり、平成になってからは老年期特有の疾患が増えました。

私の専門である認知症をはじめ、脳卒中や心臓病、難聴や視力障害などの感覚器疾患、膝および股関節の痛み、背骨の変形や骨折、運動不足や筋肉の衰えに伴う歩行障害や活動量の低下など、高齢者の生活を制限してしまう病気は枚挙にいとまがありません。

しかし紀北分院の診療もまた時代の変化に対応し、現在は、成人病や動脈硬化性疾患、認知症、脳卒中などを得意とする内科・脳神経外科、川上守前分院長が精魂を込めて発展させた背骨や関節を扱う整形外科、運動能力の改善・維持に欠かせないリハビリテーション科、感覚器疾患の代表である白内障や黄斑変性症などを数多く手がける眼科など、現在の地域の健康ニーズに適応した体制に変貌しています。また地域の子供たちの健康のための小児科や、まだ小規模ではありますが、皮膚科や泌尿器科などの診療も行っております。

時代は大きく変わりましたが、地域の方々のための病院であるという紀北病院の時代からのスピリットは何ら変わりがありません。地域の方々の健康の砦として、元気で明るい老後を暮らしていけるよう、病気になったときの対応はもちろんです、病気にならないため、寝たきりにならないための工夫を市町村や医師会とともに強力に発信していきたいと思っておりますので、今後とも皆さまのご意見・ご指導を是非お願い申し上げます。

基本理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全でご安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

基本方針

- 1 わかりやすい丁寧な説明と同意のもとに、安全で心のこもった、患者さんや家族に信頼される医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
2. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
3. 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
4. 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーを守られる

患者さんへのお願い

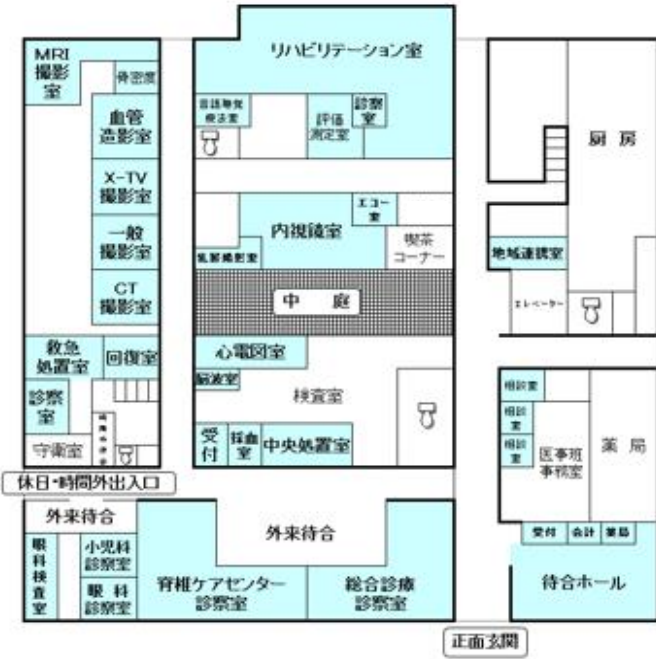
当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
2. 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
3. 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
4. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
5. 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

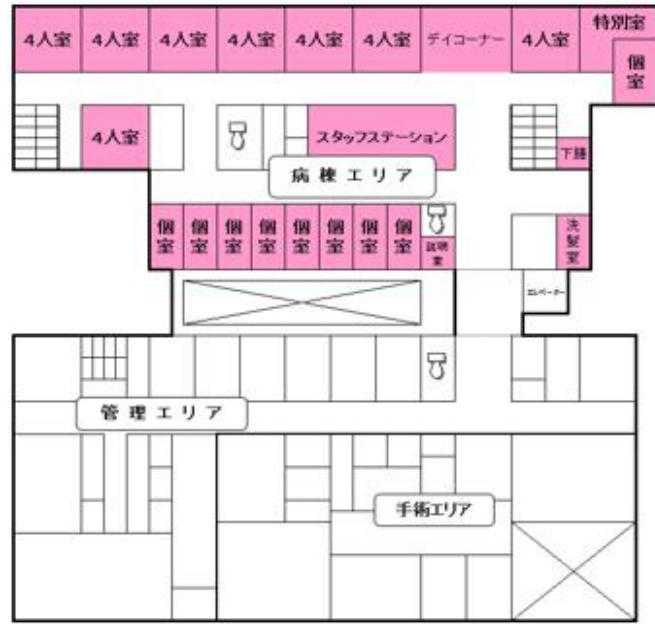
※ 当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診察を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

平面図

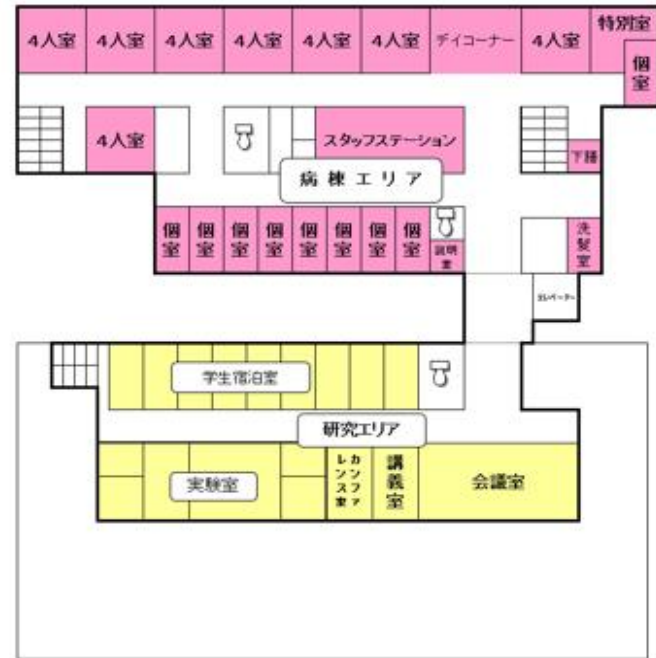
1 F



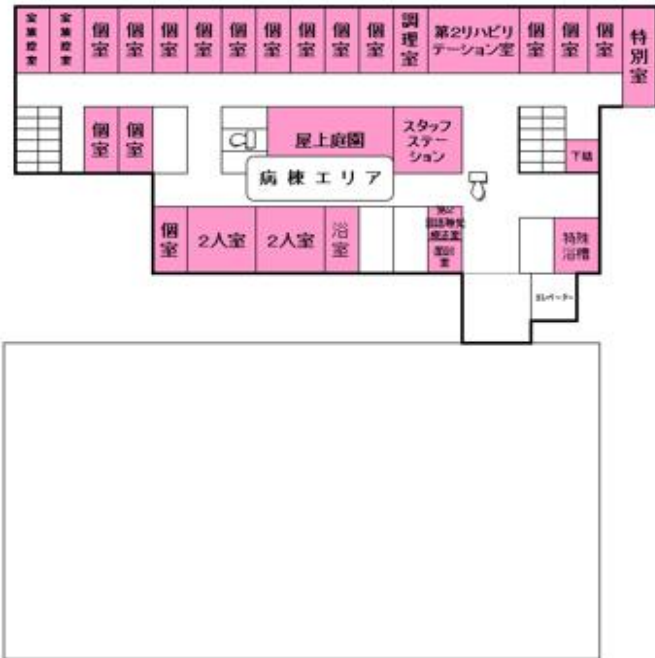
2 F



3 F



4 F



沿革

S30年 1月	紀北病院を県が買収し県立医科大学 附属病院紀北分院開院
S36年 3月	第2病棟完成
S37年11月	診療本館完成
S42年11月	看護師寄宿舍完成
S43年 9月	第1病棟完成
S48年 3月	手術棟完成
H18年 4月	公立大学法人和歌山県立医科大学 附属病院紀北分院設置
H22年 9月	新紀北分院開院
H22年 9月	電子カルテの導入
H27年 3月	創立60周年記念式典挙行

施設概要

敷地面積	18,589.55㎡
延床面積	7,660.79㎡
構造	RC造
階数	地上4階・塔屋1階
高さ	約20m
診療科	8科
手術室	2室
病床数	104床(うち第2種感染症病床4床)
駐車場	138台

診療科・医師

科名	医師名	職名	専門分野
内科	廣西 昌也	教授	脳神経内科疾患全般、パーキンソン病、認知症疾患、ボツリヌス治療
	羽野 卓三	特別顧問	循環器疾患、高血圧、老年医学、プライマリ・ケア
	梶本 賀義	助教	脳神経内科全般、パーキンソン病、認知症、脳卒中
	河井 伸太郎	助教	糖尿病、甲状腺疾患、内分泌疾患全般
	寒川 浩道	助教	総合内科、循環器内科、消化器内科、内科感染症
	川口 敬士	助教	消化器内科、肝疾患
	児玉 卓也	学内助教	腎臓内科
眼科	岡田 由香	教授	白内障網膜硝子体、緑内障、斜視・弱視、眼腫瘍、角膜創傷治療
	小門 正英	准教授	メディカル網膜疾患、白内障、涙道疾患
	西 晃佑	助教	黄斑疾患
	永井 達也	学内助教	眼科一般
	安武 正治郎	学内助教	眼科一般
小児科	青柳 憲幸	講師	感染症、血液疾患
脊椎ケアセンター 整形外科	中川 幸洋	教授	脊椎脊髄外科、内視鏡脊椎外科、低侵襲脊椎外科、スポーツ医学
	延輿 良夫	講師	脊椎・脊髄外科の診断と治療
	原田 悌志	助教	整形外科一般
	前田 孝浩	助教	整形外科一般
	玉井 英伸	学内助教	整形外科一般
脳神経外科	大岩 美嗣	病院教授	脳神経外科全般
リハビリテーション科	幸田 剣	准教授	リハビリテーション医療全般、嚥下障害、高次脳機能障害、排尿排便障害、痙縮治療(ボツリヌス療法など)、義肢装具療法
	南方 美由希	学内助教	リハビリテーション医療全般

主要設備

・磁気共鳴診断装置(MRI)・X線骨密度測定装置・白内障、硝子体手術装置

広域地図

最寄駅からの交通ご案内

JR中飯降駅より
徒歩で約5分

JR橋本駅より
車で約15分

外来診療受付時間

受付時間 午前8時45分～16時45分
再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター受付時間

平日 午前8時45分～15時00分
TEL 0736-22-4600



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
TEL 0736-22-0066(代)
URL <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

令和4年8月発行